

群馬合金株式会社 型式識別と生産管理のスマート化による業務改善

都道府県 群馬県

従業員数 125人

非鉄金属ダイカスト製造業

事業概要

- 自動車部品、産業・情報機器部品の製造。
- アルミダイカスト用金型の設計・製造。
- アルミダイカスト製品の仕上・切削加工。



抱えていた課題



- ダイカスト製品には類似形状の部品が多く、ヒューマンエラーにより製品を取り違えるミスが発生し、異品納入につながっていた。
- ダイカストマシンの情報（生産数量など）を作業者が日報として手書きで提出。外国人の従業員も多いため記載の誤りなどが散見された。

導入後の変化、効率化された業務

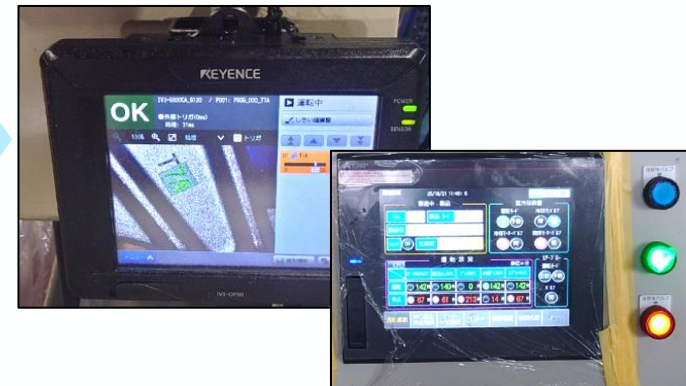
- AIを搭載したカメラによって型式の識別が可能となり、従来は目視で行っていた型式確認を自動で正誤判定できるようになった。
- これまでダイカストマシンに表示されていた生産情報を従業員が手書きで転記し日報を作成していたが、マシンデータを直接出力できるようにしたことで、手書き日報の入力が不要となり、生産実績の管理を自動化できるようになった。

導入した「ITツール」の特徴

- 画像センサ型式判別ツール「自動型式判別装置」
キーエンス製AI搭載 画像センサIV3を使用
- 自社製生産実績モニタツール
生産数、不良数、設備アラーム、運転・停止時間、などをタイムリーに把握できる。

成果

▼画像センサ型式判別ツール



▲生産実績モニタツール

- 型式の自動検出を導入したことで、型式間違いを無くし、顧客トラブルを未然に防止した。
- 人的作業を減らし、データ化することで正確かつタイムリーな実績管理が可能となった。